

令和2年度 公民科

| | | | | | | | |
|-------|--------------------|----|------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 公民 | 科目 | 現代社会 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 1年次 |
| 使用教科書 | 高校 現代社会 新訂版 (実教出版) | | | | | | |
| 副教材等 | 政治・経済 (東京法令出版) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・まずは、社会や文化、政治と経済、国際関係など、多様な面から現代社会を理解してほしい。そのためには、学校の授業に止まらず、新聞やニュース、読書、フィールドワークなど、さまざまな方法で幅広い知識を得ることが重要である。
- ・次に、現代社会の理解を踏まえて、各自がいかに生きるかを考察してほしい。その際、「幸福と何か」「正義とは何か」「公正とは何か」を考え、各自の視点で考察を深めていくことが重要である。
- ・最後に、自己の考えをまとめて発信する力を付けて欲しい。レポート提出や新聞発表などの機会を設けるので、積極的に取り組んでほしい。

2 学習の到達目標

- ・現代社会のあり方、政治や経済のしくみ、国際社会のあり方を理解する。
- ・現代社会、政治・経済、国際社会の課題をとらえ、それらはどのようにして解決していくべきかを考察する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|-----------------------|--|--|--|--|
| 観 点 の 趣 旨 | 現代社会で起こっている事象や現代社会の課題を積極的に見だし、問題意識をもってその解決に取り組もうとする。 | 現代社会の課題に対して、多面的な側面から、幸福・正義・公正の視点をもって考察し、自らの表現でそれを発表する。 | 現代社会を考察するために、政治、経済のしくみ、法のあり方、国際関係のあり方などについて、教材や資料などから情報を収集し活用する。 | 現代社会に対する理解を基本として、自己の生き方や将来の社会のあり方を考察し、自己の考え方を確立する。 |
| 評 価 方 法 | レポート 定期考査 (記述問題) | 新聞記事の発表 ワークシート 定期考査 (記述問題) | ワークシート 定期考査 | レポート 定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|-----|---------------|---|---------|---|---|---|---|----------------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期1 | 現代社会の諸課題 | <ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題 資源エネルギー問題 生命科学と倫理 高度情報社会の問題点 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 課題に関心を持つ b: 課題を考察し, 解決策考え発表する c: 課題に対する知識を深める d: 将来の社会のあり方を考察する | レポート 発表 ワークシート |
| 前期2 | 現代の民主政治と憲法 | <ul style="list-style-type: none"> 民主政治の基本原則 憲法の基本原則 国会・内閣・裁判所 地方自治 政党と選挙, 政治参加 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 政治や憲法に関心を持つ b: 政治や憲法の課題を考察し, 解決策考え発表する c: 政治や憲法に対する知識を深める d: 将来の社会のあり方を考察する | 発表 ワークシート 定期考査 |
| 前期3 | 民福祉 現代の経済社会と国 | <ul style="list-style-type: none"> 経済社会の変容 企業活動と市場 金融・財政 戦後の日本経済の歩み 公害問題と消費者問題 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 経済に関心を持つ b: 経済的な課題を考察し, 解決策考え発表する c: 経済に対する知識を深める d: 将来の社会のあり方を考察する | 発表 ワークシート 定期考査 |
| 後期1 | 向 国際政治と国際経済の動 | <ul style="list-style-type: none"> 国際社会と国際法 国連のしくみと役割 軍縮と民族紛争 国際経済のしくみ グローバル化と地域主義 途上国問題と国際協力 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 国謝意社会に関心をもつ b: 国際社会の課題を考察し, 解決策考え, 発表する c: 国際社会に対する知識を深める d: 将来の国際社会のあり方を考察する | 発表 ワークシート 定期考査 |
| 後期2 | 己 青年期と自 | <ul style="list-style-type: none"> 青年期の意義と課題 哲学と宗教 人間の尊厳と自由 | | | ○ | ○ | c: 青年期や哲学・宗教などの知識を深める d: 自己の生き方と社会のあり方を考察する | レポート 定期考査 |

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
 c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。